近畿地方

名前

問1　近畿地方のうち、三重県や和歌山県南部などの太平洋に面した地域で見られる気候の特徴とその要因について、正しい説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 冬季はシベリア高気圧から吹き出す湿った季節風の影響で雪が多くなり、夏季はフェーン現象により乾燥する。
2. 一年を通じて季節風の影響を受けにくいため降水量の変化が小さく、常に温暖で湿潤な気候が続く。
3. 夏季は北西からの季節風を山地が遮るため降水量が少なく、冬季は暖流の影響で湿った雪が降る日が多い。
4. 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。

問2　千里ニュータウンの世帯数と一世帯あたりの平均人員の変化について、2010年から2020年にかけての統計では「世帯数は増加に転じているが、平均人員は一貫して減少している」という傾向が見られます。このデータから読み取れる、現在のニュータウン居住者の特徴として正しいものを選んでください。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 世帯数が増加しているのは、高齢者が一人で住むための戸建て住宅が、かつてない規模で新築され続けているためである。
2. かつてのような三世代同居などの大家族世帯が再び増加したことで、住宅一戸あたりの密度が極めて高くなっている。
3. 世帯数が増加しているため、一世帯あたりの人員も比例して増加しており、地域全体で子供の数が急増している。
4. 再開発によるマンション建設などで住居の総数は増えているが、単身世帯や核家族などの小規模な世帯が増加している。

問3　中部地方と近畿地方の境界付近に位置する県の分類について述べた文として、正しいものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 滋賀県は中部地方に属するが、隣接する三重県は近畿地方に属する。
2. 岐阜県は中部地方に属するが、隣接する滋賀県や三重県は近畿地方に属する。
3. 福井県は近畿地方に属するが、隣接する滋賀県は中部地方に属する。
4. 三重県は近畿地方に属するが、隣接する福井県は中部地方に属する。

問4　日本の諸地域のうち、近畿地方に位置する京阪神大都市圏の歴史的・地理的特徴について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 中央官庁や大企業の本社が極度に集中しており、その圏域内に横浜市や千葉市、さいたま市など5つの政令指定都市を持つ、日本で最大の人口規模を誇る都市圏である。
2. 江戸時代から淀川などの河川を利用した水運が発達して商業の中心地となり、高度経済成長期には都市部の住宅不足を補うため周辺の山地を切り開いてニュータウンが建設された。
3. 古くから国際的な貿易港を中心に発展し、現在では広大な平野部をすべて工業用地として活用することで、先端技術産業の集積地としての役割を強めている。
4. 東西にある2つの巨大な都市圏の中間に位置しており、自動車産業を中核とした出荷額が日本最大である工業地帯を背景に、工業と商業が密接に結びついて発展した。

問5　阪神工業地帯の中核を担う大阪府の工業について、製造品出荷額の構成比や産業の特色を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 飲料・飼料などの食料品工業が中心であり、重化学工業の出荷額は全国平均を大きく下回っている。
2. かつては「東洋のマンチェスター」と呼ばれたように、現在も繊維工業が出荷額の過半数を占めている。
3. 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。
4. 輸送用機械の出荷額が突出して大きく、沿岸部には大規模な自動車工場や関連工場が集中している。

問6　日本の多くのニュータウンでは、建設から数十年が経過し、住民の高齢化や人口減少が進行しています。こうした状況において、持続可能な街づくりを目指すために行われている「若年人口」を増やすための工夫として、その目的と内容が合致している説明はどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 人口減少を食い止めるため、空き家となった住宅をすべて公的機関が管理し、更地のまま保存する。
2. 若年層が好む大規模なレジャー施設を建設するため、既存の公園や学校をすべて解体する。
3. 高齢者の外出を控えるように促し、若者が街の施設を優先的に利用できるような条例を制定する。
4. 交流の場を設けて世代間のつながりを強めるとともに、子育て環境を整備して若い世代の定住を促す。

問7　近畿地方の府県間における人口移動の状況について、2020年の通勤・通学者数のデータに基づいた説明として正しいものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 兵庫県から大阪府への通勤・通学による移動は30万人を超えており、近畿地方の中でも極めて強い結びつきを示している。
2. 三重県から大阪府への通勤・通学による移動は、愛知県への移動に比べて約10倍の規模となっている。
3. 大阪府への通勤・通学者が最も多い県は三重県であり、東海地方と近畿地方を繋ぐ役割を果たしている。
4. 滋賀県は三重県と同様に、大阪府への移動よりも愛知県への移動の方が多いという特徴を持っている。

問8　近畿地方の略地図において滋賀県の中央部に位置する、日本で最大の面積を持つ湖について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 霞ヶ浦と呼ばれ、大規模な干拓事業によって周辺の農地開発が進められた。
2. 浜名湖と呼ばれ、周囲では温暖な気候を利用したミカンの栽培が盛んである。
3. 中海と呼ばれ、島根県と鳥取県にまたがる汽水湖として知られている。
4. 琵琶湖と呼ばれ、近畿地方に住む人々の飲料水の供給などを担っている。

問9　日本の都道府県別の製造業に関する統計資料において、事業所総数が3万件を超えて非常に多く、産業別の割合で「金属製品」が約22.5%で第1位となっているほか、「生産用機械器具」や「繊維工業」が上位に入っている都道県はどこですか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 大阪府
2. 愛知県
3. 岐阜県
4. 北海道

問10　日本の諸地域に関する統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり500人を大幅に超え、かつ昼夜間人口比率が100%を超過している大阪府の人口動態について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 広大な住宅地が整備されたベッドタウンとしての性格が強く、夜間に帰宅する居住者が多いため。
2. 都市近郊農業が盛んであり、収穫時期に合わせて周辺地域から多くの農業従事者が一時的に移住するため。
3. 大規模な漁港と加工場が隣接しており、夜間の操業に合わせて他地域から労働者が流入するため。
4. 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。

問11　日本の観光産業に関する記述として、京都府の特徴を説明したものを選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。
2. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。
3. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。
4. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。	三重県や和歌山県南部は太平洋側の気候に属しています。日本の夏は太平洋側から吹く湿った季節風の影響を強く受けるため、山地で上昇気流が発生して降水量が多くなります。一方、冬は大陸からの季節風が山脈を越える際に水分を失うため、太平洋側では乾燥した晴天の日が多くなるのが典型的な特徴です。
問2	答え 4 再開発によるマンション建設などで住居の総数は増えているが、単身世帯や核家族などの小規模な世帯が増加している。	世帯数が増加している一方で平均人員が減少しているという事実は、一世帯あたりの人数が少なくなっていることを示しています。これは、再開発によって供給されたマンションに、共働きの夫婦や単身者、あるいは高齢者の単身世帯など、少人数で暮らす世帯が多く入居している現代の都市化の傾向を反映しています。
問3	答え 2 岐阜県は中部地方に属するが、隣接する滋賀県や三重県は近畿地方に属する。	地方区分を正確に判別する問題です。滋賀県と三重県は近畿地方に属しており、これらと県境を接している岐阜県は中部地方に属します。よくある誤りとして、近畿地方との交流が盛んな福井県を近畿地方と混同したり、中京圏としてのつながりが強い三重県を中部地方と混同したりするケースがありますが、公式な地方区分では三重・滋賀は近畿、福井・岐阜は中部となります。
問4	答え 2 江戸時代から淀川などの河川を利用した水運が発達して商業の中心地となり、高度経済成長期には都市部の住宅不足を補うため周辺の山地を切り開いてニュータウンが建設された。	江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、淀川などの河川交通（水運）を利用して全国の年貢米や特産物が集まる商業の拠点として栄えました。明治時代以降も西日本の経済・文化の中心として発展を続けましたが、戦後の高度経済成長期に都市への人口集中が加速したことで、中心部では深刻な住宅不足が発生しました。これを解消するため、千里ニュータウン（大阪府）などに代表される大規模な住宅団地が、周辺の山や丘陵地を開発して建設されました。なお、5つの政令指定都市を持つのは東京圏、2つの大都市圏の間に位置し出荷額が日本最大なのは中京圏の特徴です。
問5	答え 3 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。	大阪府が中心となる阪神工業地帯は、戦前から金属工業や機械工業が発達してきました。現在でも統計上、金属製品の製造品出荷額が他の都道府県に比べて高い水準にあり、機械工業と並んで大阪の工業を支える重要な柱となっています。一方で、かつて盛んだった繊維工業の割合は低下しており、輸送用機械については栃木県などの内陸県や東海地方の方が高い割合を示す傾向があります。
問6	答え 4 交流の場を設けて世代間のつながりを強めるとともに、子育て環境を整備して若い世代の定住を促す。	ニュータウンの活性化には、単に住宅を維持するだけでなく、新たな世代が住みたいと思える環境作りが不可欠です。交流の場やイベントなどのソフト面と、子育て支援施設の充実などのハード面を組み合わせることで、若年層の流入を促し、地域の活気を取り戻す取り組みが全国のニュータウンで重要視されています。
問7	答え 1 兵庫県から大阪府への通勤・通学による移動は30万人を超えており、近畿地方の中でも極めて強い結びつきを示している。	近畿地方の人口移動では、大阪府を中心とした都市圏の広がりが顕著です。具体的には、兵庫県から大阪府へ30万人以上が移動しており、最大規模の結びつきを見せています。一方で三重県は、大阪府への移動（約5千人）よりも愛知県への移動（約4万人）の方が圧倒的に多く、滋賀県などが持つ「大阪方面への強い志向」とは異なる、独自の地域的結びつきを持っています。
問8	答え 4 琵琶湖と呼ばれ、近畿地方に住む人々の飲料水の供給などを担っている。	滋賀県の中央部に位置する日本最大の湖は琵琶湖です。琵琶湖から流れ出る水は淀川を通じて大阪府や京都府、兵庫県などの広範囲に届けられており、約1,400万人以上の生活を支える「近畿の水がめ」として極めて重要な役割を果たしています。
問9	答え 1 大阪府	大阪府は古くから「商人の町」として発展し、現在は東大阪市や堺市などを中心に、高い技術力を持つ中小企業の工場が集積しています。そのため、事業所総数が他の道県と比較しても非常に多く、製品別では金属加工技術を活かした「金属製品」の割合が高いことが大きな特徴です。
問10	答え 4 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、多くの企業や学校が集まっています。そのため、兵庫県、奈良県、和歌山県といった周辺の地域から、日中に仕事や通学のために移動してくる人が非常に多いのが特徴です。この結果、夜間にその場所に住んでいる人数（夜間人口）よりも、昼間に滞在している人数（昼間人口）の方が多くなり、昼夜間人口比率が100%を超えるという現象が起こります。人口密度も全国的に見て極めて高い水準にあります。
問11	答え 3 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。	2015年のデータにおいて、京都府は中国からの宿泊客数に次いでアメリカ合衆国からの宿泊客数が多いことが示されています。これは、京都が持つ「伝統的な日本」というブランドイメージが欧米諸国で強く支持されているためです。ビジネス客が中心の地域や、買い物客が中心の地域とは異なる、独自の観光客層（文化観光）を形成している点が地理的な特徴として挙げられます。